

# 夢の光

Tamura Akihide Exhibition:  
Light of Dreams



シリーズ(新BASE)より《厚木》2009年 作家蔵

2012 7.21(土) - 9.23(日) 東京都写真美術館 2階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内  
【開館時間】10:00-18:00(木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前まで) 【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館) 【観覧料】一般600(480)円/学生500(400)円/中高生・65歳以上400(320)円( )内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。【主催】東京都写真美術館/読売新聞社/美術館連絡協議会 【助成】芸術文化振興基金 【協賛】ライオン/清水建設/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網 【協力】日本カメラ社

www.syabi.com

## 田村彰英

「かつて、日本現代写真における天才といえば、たった一人の写真家を指したものだ。その写真家とは、田村彰英である。」

上野修 写真評論家

(田村彰英「AFTERNOON 午後」書評、『日本カメラ』2010年4月号より)



田村彰英

たむら・あきひで(1947-)

東京生まれ。1969年、東京総合写真専門学校研究科卒業。74年、「ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィー」展(ニューヨーク近代美術館)、「15人の写真家展」(東京国立近代美術館)に参加するなど、20代の頃よりその才能を認められ、日本を代表する写真家として活躍する。84年、写真集「TAMURA PHOTOGRAPHS」で日本写真協会新人賞を受賞。「影武者」「乱」「夢」「八月の狂詩曲」の撮影現場のスタイルを担当し、黒澤明監督から高い評価を得る。写真家として雑誌、広告などで活躍する一方で写真教育にも力を注ぎ、東京総合写真専門学校他で教鞭をとる。

東京都写真美術館では、1970年代以降の現代日本写真史に大きな影響を及ぼし、いまなお注目を浴び続ける田村彰英の個展「夢の光」を開催いたします。

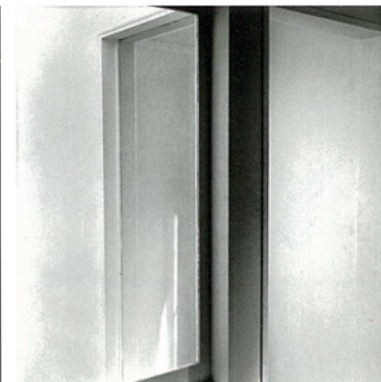
田村彰英(1947-)は東京総合写真専門学校在学中から、同校の校長であり写真評論家の重森弘淹にその才能を高く評価された写真家です。1960年代後半から70年代前半にかけて米軍基地を撮影した《BASE》が、社会的・政治的文脈を排除したきわめて感覚的な映像として注目され、以後、カメラ雑誌などで作品を発表するようになります。

1974年、ニューヨーク近代美術館で開催された「ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィー」展に発表した定点観測の手法による《家》は、同館写真部門のディレクター、ジョン・シャーフスキーに推挙され永久保存となるほか、多くの作品が国内外の美術館に収蔵されています。

1980年代から90年代にかけては、変容が進む都市の景観を記録したシリアスな作品を精力的に発表し、田村は常に日本の現代写真の第一線で活躍してきました。本展は、国内の米軍基地を撮影した幻の名作《BASE》のほか、未発表作品を含む約100点の作品で創作活動の軌跡をたどり、時代を経ても色あせない田村の写真世界を堪能する格好の機会となります。会期中には、作家自身や作品に関わりの深い人たちの肉声を聞くことのできる関連イベントも充実。より一層鑑賞が楽しくなる本展にぜひご来場ください。



シリーズ(湾岸)より《横浜》1992年 作家蔵



シリーズ(午後)より《横浜市保土ヶ谷区》1972年 川崎市市民ミュージアム蔵



シリーズ(BASE)より《横須賀》1969年



シリーズ(家)より1968年6月22日



シリーズ(名もなき風景のために)より《座間船、三重県津市》1994年



シリーズ(新BASE)より《厚木》2009年 作家蔵  
所蔵先の記載のない作品は東京都写真美術館蔵

### 関連事業

- 作家とゲストによる連続対談 各回とも14:00-15:30  
8/4(土) 『カメラ毎日』とコンボラの時代 前田利昭 [日本カメラ] 編集長 上野修 写真評論家  
8/11(土) 売れる写真、新しい写真表現 町口覚 アートディレクター 町口景 アートディレクター  
8/25(土) 写真を読む、写真を楽しむ 三浦しをん 作家

- 作家とゲストによるトーク&ギターライブ 18:30-20:00  
9/7(金) ライカとクラシックカメラの夕べ 永田徹 ISO/TC42(写真)国際エキスパート 板井公規 ギタリスト

【対象】観覧チケットをお持ちの方 【受付】当日10:00より当館1階受付にて整理番号つき入場券を配布します 【会場】2階ラウンジ(定員50名)  
\*事業の内容はやむを得ない事情により変更する場合があります。予めご了承ください。

- 担当学芸員によるフロアレクチャー 毎月第2・4金曜日14:00-  
\*本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください。



東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田一丁目13番3号 Tel:03-3280-0099(代) 恵比寿ガーデンプレイス内 www.syabi.com

● JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
● 当館には専用の駐車場はございません。お車のご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。